

3G回線停波対応用 設置のご参考図

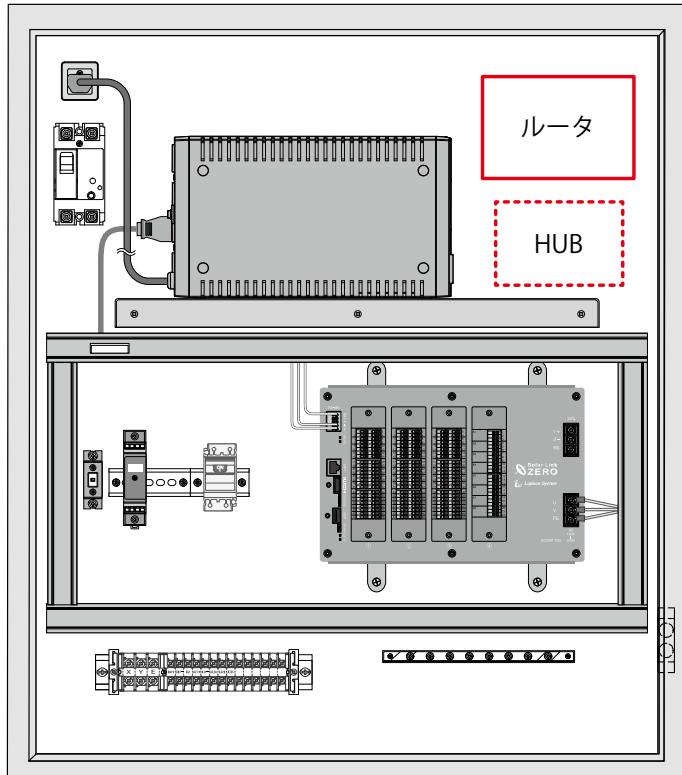
Laplace System

新たに設置するルータやHUBは、既設の収納ボックス内への設置を推奨します。

本紙では、既設の収納ボックス内への設置例を記載しています。実際の設置作業は、発電所個別の構成に応じてお客様の責任で実施してください。

設置例① 空きスペースに設置

- ・スペースに余裕がある場合（金属製ボックスなど）



(正面)

※各機器はイメージです。

確認ポイント

- ・設置位置にLANケーブルや電源の配線が届くか
- ・扉を閉めた際に機器や配線が干渉しないか
- ・扉に設置する場合は、扉の耐荷重
(参考) TNルータ重量 : 約300g
弊社製M2Mルータ重量 : 約120g
HUB重量 : 約330g

ご注意

- ・配線などについては、「3G回線停波対応用ルータ設置／交換手順書」をご確認ください。
また、収納ボックスの施工についてはメーカー資料もあわせてご確認ください。
- ・参考品番の部材は、弊社からの提供はいたしかねます。

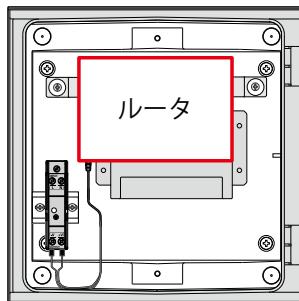
設置例② 2段重ねで設置

- ・スペースに余裕がない場合（プラスチックボックスなど）

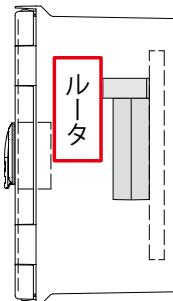
・Z金具などを使用
(参考品番) S-8-1-3C カメダデンキ製

※参考品番を弊社製M2Mルータで使用する場合は、取り付け穴が固いためネジを慎重に締め付けてください。

※設置位置によっては、既設ZEROの作業（配線、USBメモリ挿入、LED確認など）がしづらい場合があります。
その場合は、ルータをあとから設置、または外して作業してください。



(正面)

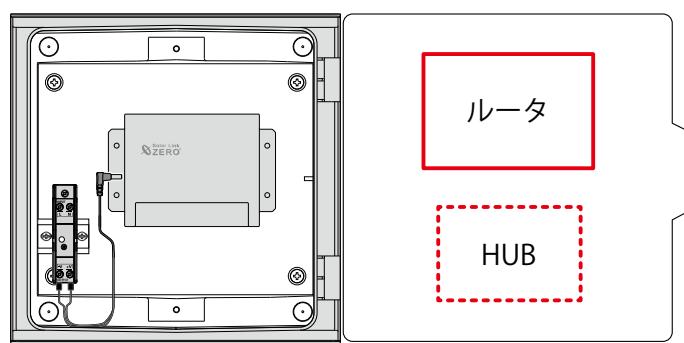


(右側面)

設置例③ 扉に設置

- ・スペースに余裕がない場合（プラスチックボックスなど）
- ・ハイステッカーなどを使用
(参考品番) K-34-SA カメダデンキ製

※参考品番を弊社製M2Mルータで使用する場合は、取り付け穴が固いためネジを慎重に締め付けてください。



(正面)